平成２３年度物理学専攻常置委員会 議事録

日時：４月１日（金）１１時００分―１２時３０分

場所：理学部１号館３３８号室

出席：物理学教室　　：初田（専攻主任)、佐野（専攻副主任）
　　蓑輪、上田

原子核ｾﾝﾀｰ　：井手口

物性研　　：徳永、加藤（岳）

宇宙線研　　：大橋（代森山）

宇宙研　　：中川

高エ研　　：徳宿

駒場　　：陶山

素ｾﾝﾀｰ　　：小林

以上１２名出席

配布資料

１．平成 23 年度物理学専攻関係委員及び事務担当者表

２．平成 23 年度物理学専攻部局別教員一覧

３．平成 23 年度物理学専攻サブコース別教員一覧

４．常置委員会と専攻会議の日程（案）

５．平成 24 年度物理学専攻修士課程入試日程（案）

６．平成 24 年度入試出題およびレヴュー委員（案）

７．平成 24 年度物理学専攻修士課程入試ガイダンス（案）

８．専攻分野一覧

９．口述試験部屋割り

１０．研究所ガイダンス日程表

１１．大学院担当の申請についての物理学専攻内規

１２．副担当教員一覧

１３．平成 23 年度大学院授業時間割表

＜議事＞

◎議事に先立ち、各常置委員の自己紹介があった。

１．　連絡事項

専攻主任より、配布資料１～３について説明と確認がなれた。記載事項の変更について修正を行った。

次回からの常置委員会は、できるだけ mail で行いたい旨、専攻主任より要望があった。

２．　修士入試について

１）　専攻主任より、配布資料 4 および５に基づき、会議日程および修士課程入試日程の確認がなされた。

修士課程入試は、今後、8 月の第 3 週目に行われることに決まった旨報告があった。

２）　専攻主任より、大学院入試委員の部局別人数について説明があり、配布資料６に基づき、２０１２年度委員の選出の提案があり、承認された。

半数は基幹から出し、半分を部局ごとの人数に併せて出すことにする。

部局の人数については、年によって変わるので、その都度 revise します。

３）　専攻主任より、配布資料７により、平成 24 年度物理学専攻ガイダンスの日程および内容について提案があり、承認された。

お手伝いの学生は、サブコース主任を通じて、広く専攻から集めることになった。

４）　専攻主任より、部局より申請のあった研究所ガイダンスの日程調整について確認と提案があり、決定された。

５）　専攻主任より、配布資料８に基づき、修士課程入試および博士課程入試用専攻分野一覧の確認があり、物性研１名の変更をすることで承認された。

願書については、今年から志望動機を書く欄に、必ず書いてもらうように変更することにした。

６）　専攻主任より、配布資料９により、H23 年度口述試験部屋割りの確認が

あった。

３．その他

１）専攻主任より、大学院担当の推薦について、資料 11 に基づき、大学院担当とは教育をすることであるので、研究のみならず、教育で何をしてもらえるかにより推薦して欲しい旨、お願いがあった。それにより、提案書には、大学院生にとってどのようなメリットがあるかを書くように要請があった。
専攻会議の直前に主任がその先生に会って、教育について説明差し上げてから会議に出したい。大学院担当について皆の意識を uniform したいとの話があった。

２）専攻主任より、2010 年から理学系研究科で、副担任制を導入することが決まった事を受け、物理学専攻では、配布資料 12 に基づき、部局・サブコースで副担当教員を決め、指導教員に相談できない事項については、副担当教員が相談に乗って行くことにした。人選については、基本的にはサブコース主任にお願いすることとした。副担当教員は、入学者ガイダンスで学生に周知することにする。在学生には、HP・メールで周知する。
IPMU は、現在 A1 サブコースに入っているが、独自に 1 人出すということであれば、それでも良い。

３）専攻主任より、配布資料 13 に基づき、H23 年度授業担当教員が決まった旨報告があった。
今年は、カリキュラムを大幅に改定し、基礎科目と先端的科目をはっきりさせた。よって、希望を出していただいて、その中で検討もしつつ、基礎科目はこちらからお願いして担当していただいている。
学生の習熟度レベルが違うので、それを是正し、良くできる人は延ばし、レベルの低い人は持ちあげるように WG で変更した。
自分にあった講義を取ってください。
きちんと評価をするために、レポートだけでなく試験もして欲しい。
英語について：
先端的講義は、日本語の判らない人がいたら、英語で講義をする。
基礎的講義は、学部共通なので、基本的に日本語。しかし英語でやるかどうかは、担当教員に任せる。

４）専攻主任より、教員は研究室の学生に個人情報を入力するようにご指導いただきたい旨要請があった。

５）専攻主任より、セクハラ・アカハラ・自殺等につき、早くから予防が必要であるという話があり、添付パンフレットの紹介があった。
問題が大きくならないうちから予防することが大事なので、日頃から学生の話を聞いて予防に努めて頂きたい。

４．　各部局より、専攻会議費を集めた。